

プラスチックを減らすために

長野工業高校 情報工学科

久保村 渉太
小林 愛実

なぜこのテーマにしたのか？

プラスチック問題についてはよくニュースなどで取り上げられているが、
実際の現状であつたり、問題点については詳しく知らなかったもので、これを機に調べてみたいと考えたから

テーマに関連したSDG s の目標



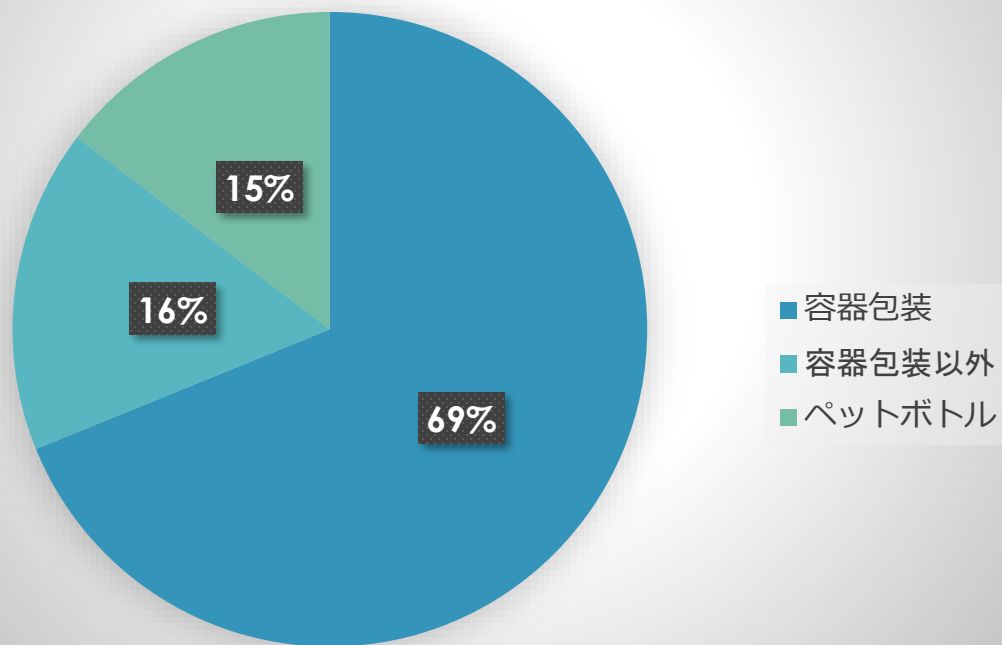
**プラスチックの生産、
使用に関して**



**海洋プラスチック
に関して**

現状

一人当たりのプラスチックごみの
の発生量



パッケージ用プラスチックの廃棄量
は世界で二番目に多い

プラスチック商品の多さ



プラスチック食器



調理器具



椅子

現状(海外)

アメリカの州やインドの州では
使い捨てプラスチック製品の使用を
禁止している

しかし…

日本では2030年までに使
い捨てプラスチックを25%
減らすという小さい目標にと
どまっている



(例)飲料のストロー
などが禁止された

問題点

お菓子の過剰包装をしていること



レジ袋、ペットボトルの
使用量がとても多い



それにより...

- プラスチックごみが増える。

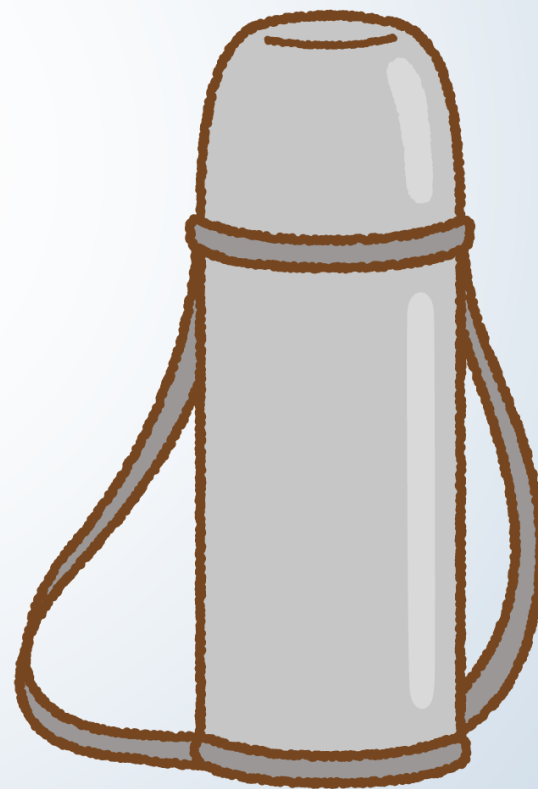


- 海に捨てられてしまい、海に悪影響が出る。



今後の課題

1. 一人当たりペットボトルや、プラスチックの使用量を減らす
(例) 水筒を持参したり、マイバックを持つようにする。





2. 海外の政策を積極的に取り込んだり、日本内での目標を高めて、日本国民に発信する必要がある。

3. 過剰包装などの必要のないプラスチック製品の生産を減らす。

消費側も、なるべく購入をしないようにする。

SDGsの実現に向けて

～10代からの提言～

- ・プラスチックは環境に影響を与えてしまうため、テイクアウト時のプラスチックを紙容器に変更したり、使い捨てスプーンなどを提供しないようにすべき。
- ・日常で使うプラスチック製品を木や紙などの環境に影響を及ぼす危険性のない製品に変えるべき。
また、そのような製品を店頭に並べ、だれもが使えるような環境にすべきである。(例)歯ブラシやお菓子の包装、ストローなど。

考察と感想

まとめるにあたって様々な記事を調べました。

その際に多くの見分を知ることができ、たくさんの考えに触ることができました。

しかし、記事などでは多くの問題を取り上げ重要視しているにもかかわらず、実際はその問題があまり改善されていないように思えました。

なので、問題解決のためには、問題提示だけではなく自らが行動を起こすことが一番必要なのではないかと考えました。